

LS 研 2022 年度短期研究分科会 研究テーマ概要

カテゴリ	No.	研究分科会テーマ
ICT 戦略 ／人材育成	1	変化に柔軟・迅速に対応できる組織への変革の研究
技術／技法	2	プログラミング言語新潮流の研究
管理／運用	3	セキュリティインテリジェンス・サービスの調査研究(導入と運用)

注)本資料中に記述した製品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

LS 研 2022 年度短期研究分科会 研究テーマ概要

ICT 戦略 /人材育成	No.1	変化に柔軟・迅速に対応できる組織への変革の研究
研究内容 ・一般的な動向(背景) ・業務上/社会上の問題 ・解決すること(課題)	【背景】 変化が激しい競争環境の VUCA 時代では、変化に適応できない企業は生き残ることが難しい。前例に囚われずに組織や業務の柔軟性や変化への適応力・対応スピードが求められるようになっている。 【問題】 従来型の中央集権型の組織、トップダウンの仕事のやり方では、計画の変更が難しく、変化への対応が遅れてしまう。現場部門 (LoB) から求められるスピードに対応できなかったり、そもそも LoB にも答えがない場合、検討が進まない。前例が無い場合、思考停止して活動が止まったり、従来やり方に拘って失敗してしまう。 【課題】 情報システム部門において、変化への対応力を持った組織になるために必要なスキルや仕組みを明確にする。	
目標とする研究成果(例)	・LOB 部門、IT 部門が共同で推進する組織やプロジェクトに関して各企業での取り組みについてアンケートの取得、整理 【項目例】 ・組織化(仕組み作り)方法 ・人材(スキルセット)開発 ・組織運営(現場部門と IT 部門の連携)方法やガイドライン ・プロジェクトマネジメントの在り方(ガイドライン)	
具体的な研究項目(例)	・VUCA 時代に求められている組織(スキル・仕組み)の特徴の理解 ・組織化や人材の課題(仕組み作りや必要な人材の育成) ・上記組織を実行する際の課題(現場部門との連携方法など)	
参加条件 対象部門・クラス・前提スキルなど	情報システム部門の幹部社員、リーダークラス(組織変革を検討・実行、できる立場)の方	

技術/技法	No.2	プログラミング言語新潮流の研究
研究内容 ・一般的な動向(背景) ・業務上/社会上の問題 ・解決すること(課題)	【背景】 基幹系のプログラミング言語が JAVA にほぼ収斂される中、世の中では次々に新しいプログラミング言語が生まれている。特に IT ジャイアントは積極的に新しいプログラミング言語を使うことで、生産性の向上やビジネスチャンスを増やしている。 【問題】 枯れた言語を用いることはソフトウェアの品質を担保するうえで重要だが、変化の激しい IT 業界において新しい潮流に目を塞いでいては、近い将来またもや失われた XX 年というレッテルを貼られかねない。とはいえ、新しい言語を利用するには先行教育投資が必要であり、結果として火傷を負う危険もある。 【課題】 基幹システム開発者が、新しいプログラミング言語を適用することにより、生産性停滞、陳腐な UI/UX、人海戦術に頼った品質管理から脱却するための情報を整備する。	
目標とする研究成果(例)	・新しいプログラミング言語の概観(種類、特徴、採用例、シェア、…) ・新しいプログラミング言語の適用分野別のメリット・デメリット ・品質、生産性、学習カーブなど、採用する場合の判断基準(実際に手を動かして調査する)	
具体的な研究項目(例)	・新しいプログラミング言語の洗い出し ・各言語の特徴の調査、分類 ・各言語の適用分野の向き、不向き ・簡単な業務の実装を試行し、使用感の確認、作業工数の調査、保守性の調査 ・各言語についての適用判断情報の整理	
参加条件 対象部門・クラス・前提スキルなど	実装を行っている方、実装方式を判断する方	

LS 研 2022 年度短期研究分科会 研究テーマ概要

管理/運用	No.3	セキュリティインテリジェンス・サービスの調査研究(導入と運用)
研究内容 ・一般的な動向(背景) ・業務上/社会上の問題 ・解決すること(課題)	<p>【背景】 ここ3~4年でセキュリティインテリジェンス・サービスが登場してきたが、セキュリティ対策ベンダーによって差がある(ex. IPフィルタリングをメインとしたベンダーは、標的型攻撃で使用するC&CサーバーのIPアドレスを把握している等)。昨今では、精度の高い情報を蓄積し、AIを活用したビッグデータ分析や相関分析による精度や信頼性の高いセキュリティインテリジェンス・サービスが提供され始めている。</p> <p>【問題】 企業が有する情報セキュリティ上の課題に合致した適切なサービスを選定できない(コストを含めたサービスの有用性などの比較ができない)。また、運用にあたり、ユーザーとベンダーとの役割分担やサービスによる差異など不明瞭な面がある。</p> <p>【課題】 SOC(Security Operation Center)が、業務品質ならびに機能の向上するための方法を整理する。</p>	
目標とする研究成果(例)	・セキュリティインテリジェンス・サービス群の特徴/対比一覧表 ・セキュリティインテリジェンス・サービス導入/運用のポイント(事前対策の実施、検知率向上、対処~復旧の早期化等)	
具体的な研究項目(例)	・セキュリティインテリジェンス・サービス群の特徴やその対比の検討 ・セキュリティインテリジェンス・サービスの導入/運用のポイントや示唆	
参加条件 対象部門・クラス・前提スキルなど	セキュリティインテリジェンス・サービスの導入を検討している方	